

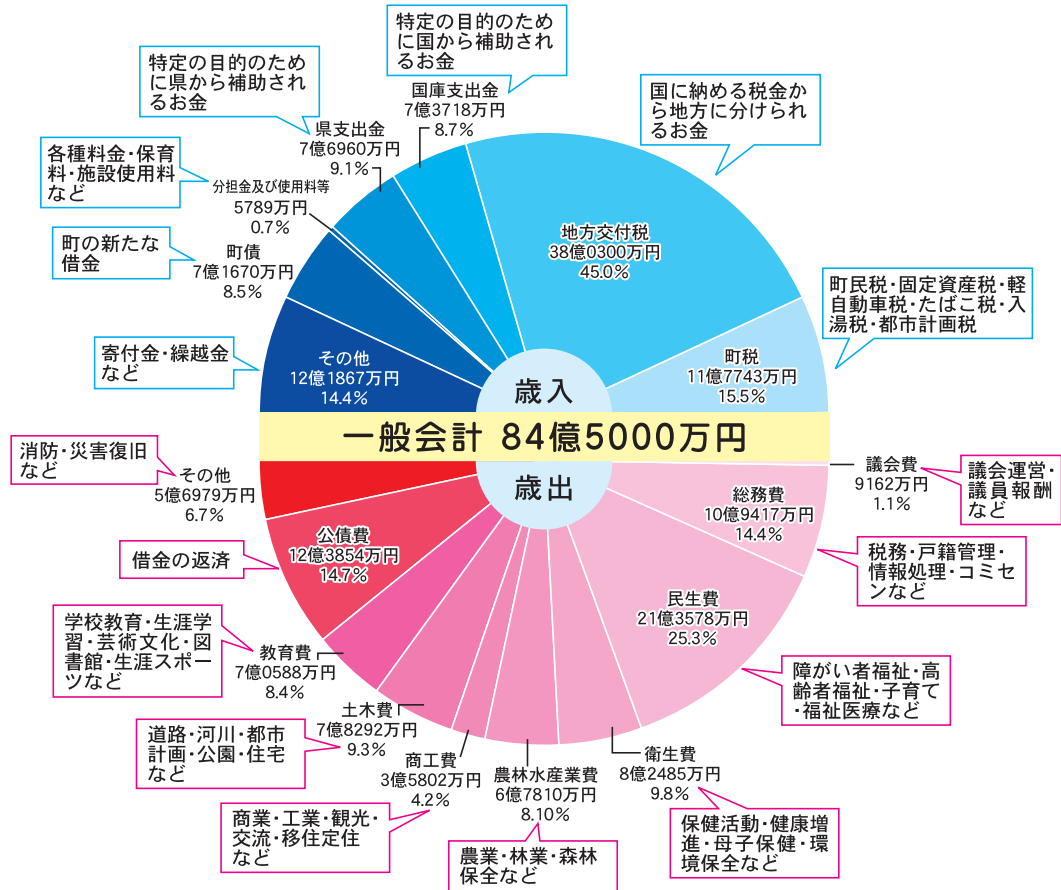
予算特別委員会

質疑154問・7時間43分

予算特別委員会とは

当局から提案された予算が、有効に使われようとしているか審査を行います。一般会計のほか、六つの特別会計と二つの事業会計があります。

3月14日と15日の2日間にわたり、令和4年度当初予算について審査しました。



歳入 (町の収入)

**町民税・固定資産税 予算の増額要因**  
**小口委員** 町民税、固定資産税の増額要因の詳細は何か。  
**当局** 町民税については、コロナ禍の影響が、決算見込みから、やや回復していると判断した。固定資産税については、家屋の新築増築の新規課税、償却資産の新規取得見込み、中小事業者へのコロナ関連軽減措置が終了したことによる。

**普通交付税の増額要因**  
**小口委員** 普通交付税の増額要因は何か。  
**当局** 過去の実績と国から示された地方財政対策に、当町の個別要因を組み合わせて見込んでいる。特に、地方交付税全体で3.5%の増額が見込まれている。

**町税全体の収納率**  
**当局** 町税全体の収納率については、令和2年度が93.7%、令和3年度が93.9%、平成30年度が94.2%の状況である。県内平均を若干下回り、29番目の状況にある。副町長を委員長とする収納率向上対策委員会を設置し、関係部署で連絡調整を図りながら取り組んでいる。